

議員氏名：野地 洋正

議案番号：議案第21～25号

案件名：令和8年度二宮町一般会計予算

令和8年度二宮町国民健康保険特別会計予算

令和8年度二宮町後期高齢者医療特別会計予算

令和8年度二宮町介護保険特別会計予算

令和8年度二宮町下水道事業会計予算

討論内容：

私は令和8年度予算、議案第21号に反対、議案第22、23、24号の3特別会計及び議案第25号は賛成の立場で一括討論します。

少々お時間をいただきます。

一般会計です。

もちろん評価できる事業もありますが、それはほかの議員がおっしゃると思いますので、私は指摘事項、大きく以下3点について述べさせていただきます。

1つ目です。任期最終年度の予算は、本来であれば、残された課題解決に向けて取り組むべく予算でなければならないと思っています。

しかしながら、令和9年度まで継続中の公共施設再配置・町有地有効活用実施計画にある、とりわけ、平成28年に休止した袖が浦プールと小児病院跡地の活用については何も触れておらず、まさに課題先送り予算と言わざるを得ません。

袖が浦プールは、要望により、水を抜き、泥をさらっていただいたものの、実質はこの10年でアンケート2回行っただけで、ほったらかし。水槽内にあるブルーシート、プールサイドには枝木が積もり、建物の時計は6時36分を指したまま、休止であることの看板はあせて字も読めず、近隣の方からは、寝袋が干してあったなど、治安を心配される始末です。

小児病院跡地においては、令和6年、サウンディングマーケットにより、5者から提案を受けたにもかかわらず、どうするかも含め、全く情報すら入ってこず、令和8年度もそのまま動きすら見られません。

まさか、8年から9年度、継続事業である公共施設等総合管理計画が策定されるまで、何も手をつけないつもりなのでしょうか。

2つ目です。交付金、補助金任せの予算であること。

二宮独自の町民福祉の向上を目指すのであれば、自主財源を確保しなければ、なかなか前へ進められないということをご存じのはずです。私もその策を求めてきました。

しかしながら、予算審査では、相変わらず交付金、補助金にすぎり、加えて、確保できなければ、ガバメントクラウドファンディングという寄附で歳入を賄う始末。町内の経済循環、自主財源確保に向けた方向性が全く見えません。

3つ目です。地域住民に寄り添ってないところです。

子ども会育成会連絡協議会は姿を消し、各地区の子ども会はほぼ消滅しました。青少年指導員連絡協議会、スポーツ推進委員連絡協議会、健康づくり普及委員協議会は解散され、地区から離され、公募制とするとのこと。ただでさえ、地域コミュニティの希薄さが叫ばれている中、助長される危

険は高まります。

協議会は、団体としての活動のほか、各地区それぞれの活動の情報を共有または意見交換し、お互いによいところは自身の地域に取り入れていこうなどの目的もあったはずです。

議会からの審査意見として度々申し入れている役員の担い手不足、責任の軽減に対しては一定の効果があるものと考えますが、利用していた、世話になっていた地域、町内会の住民は、果たしてどう思っているのでしょうか。そこについては、きちんとした説明がありませんでした。

やはり、この動きと同時に、地区の様々な問題解決に寄り添い、助言する地区担当職員を配置すべきではなかったのかと強く感じるところです。

以上の指摘は、言わばその日暮らしの対応であり、町政施行100年、新たなまちづくりのスタートに向けた中長期的課題解決、将来への展望の第一歩に逆行するものであり、決して看過できません。

したがって、反対といたします。

議案第22号、23号、24号及び25号は、おおむね妥当と判断します。

中でも、国民健康保険特別会計の特定健診等事業においては、受診率県内トップという輝かしい実績は名誉でもあり、対象者ごとに複数回受診勧奨を行うなど、町民に寄り添った事業展開を心がけてきた表れであると感じています。

そして、それは、生活習慣病の早期発見、早期改善につながり、結果として、町民の健康、医療費削減へも大きく貢献、効果をもたらしたものと考えます。引き続き、丁寧に推進していただくことを思うところです。

以上で一括討論を終わります。皆様のご賛同をよろしくお願いいたします。